

飲酒と自殺

飲酒と自殺の関係

疫学調査(国レベル)

1. アルコール消費量と自殺率

アルコール消費量と自殺率で正の相関を示す調査が多い

2. 消費量の増減と自殺率

消費量の増減と自殺率は並行して動くようだ

例

1) ロシア

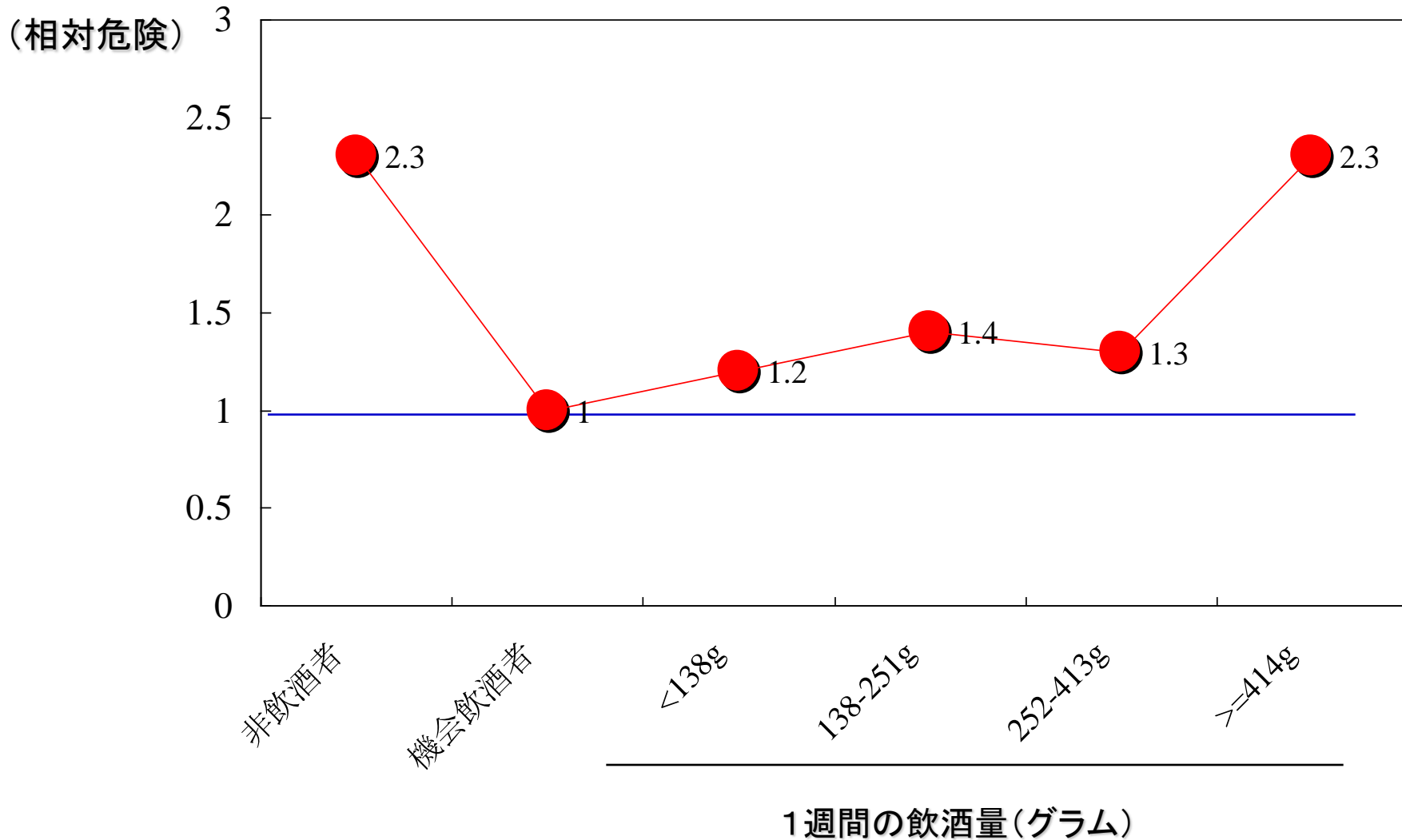
1985年からの反アルコールキャンペーンでアルコール消費量が大幅に下がった。1984年に比べて、1990年に自殺率が、男性で32%、女性で19%低下した。

2) エストニア

1985年から反アルコールキャンペーンが行なわれた結果、国民一人当たりの飲酒量が年間純アルコールに換算して10.9Lから6.6Lへと大幅に減少したが、この間に自殺遺体のアルコール検出率が男性で39.2%、女性で41.4%減少した。

飲酒量と自殺のリスク

わが国におけるコホート研究1: JPHC研究

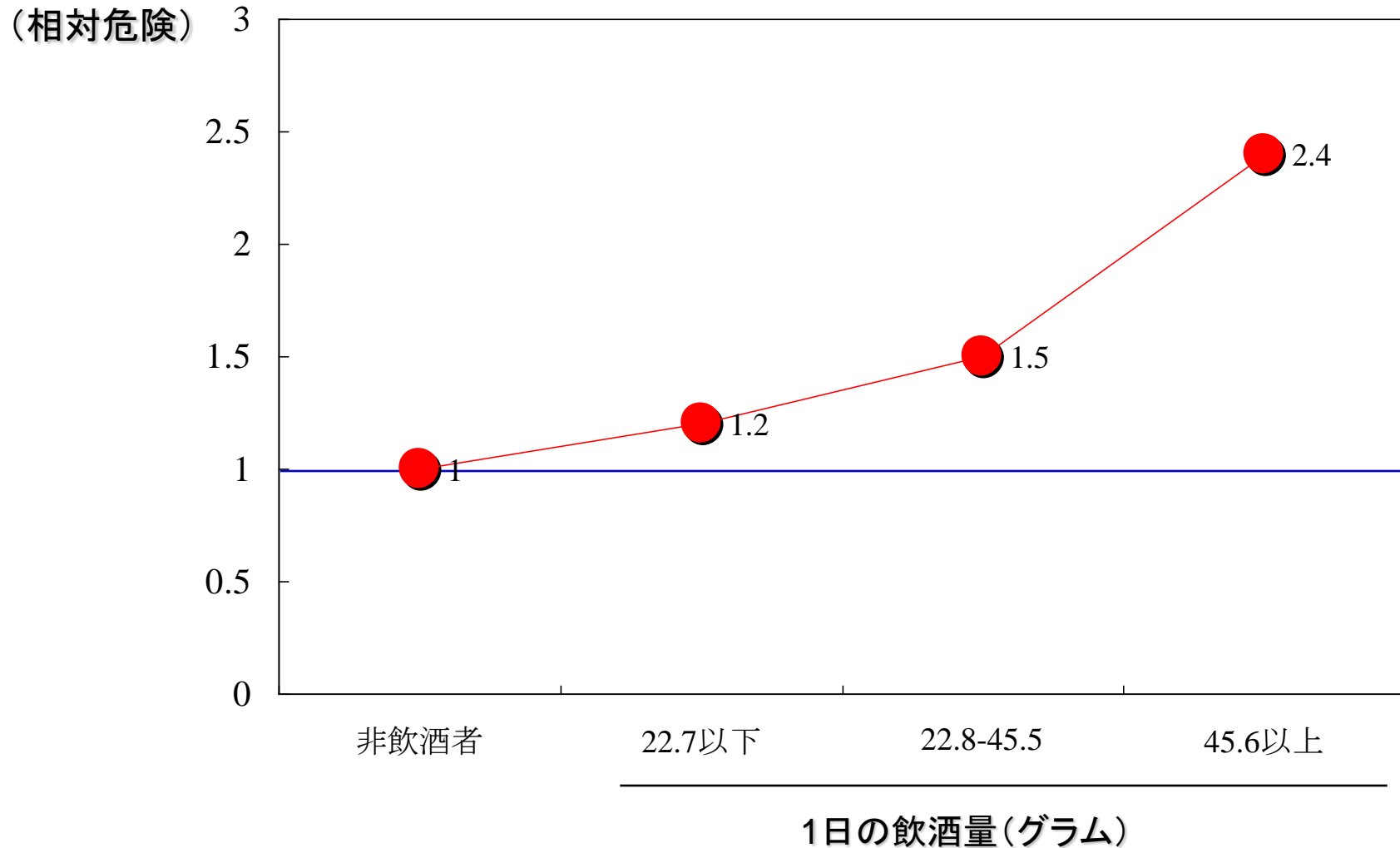


対象: 40-69歳の男性43,383名

Akechi T et al. Br J Psychiatry, 2006

飲酒量と自殺のリスク

わが国におけるコホート研究2: Ohsaki Study



対象: 40-79歳の男性22,804名

Nakaya N et al. Alcohol, 2007

飲酒と自殺の関係

疫学調査(コホート研究)

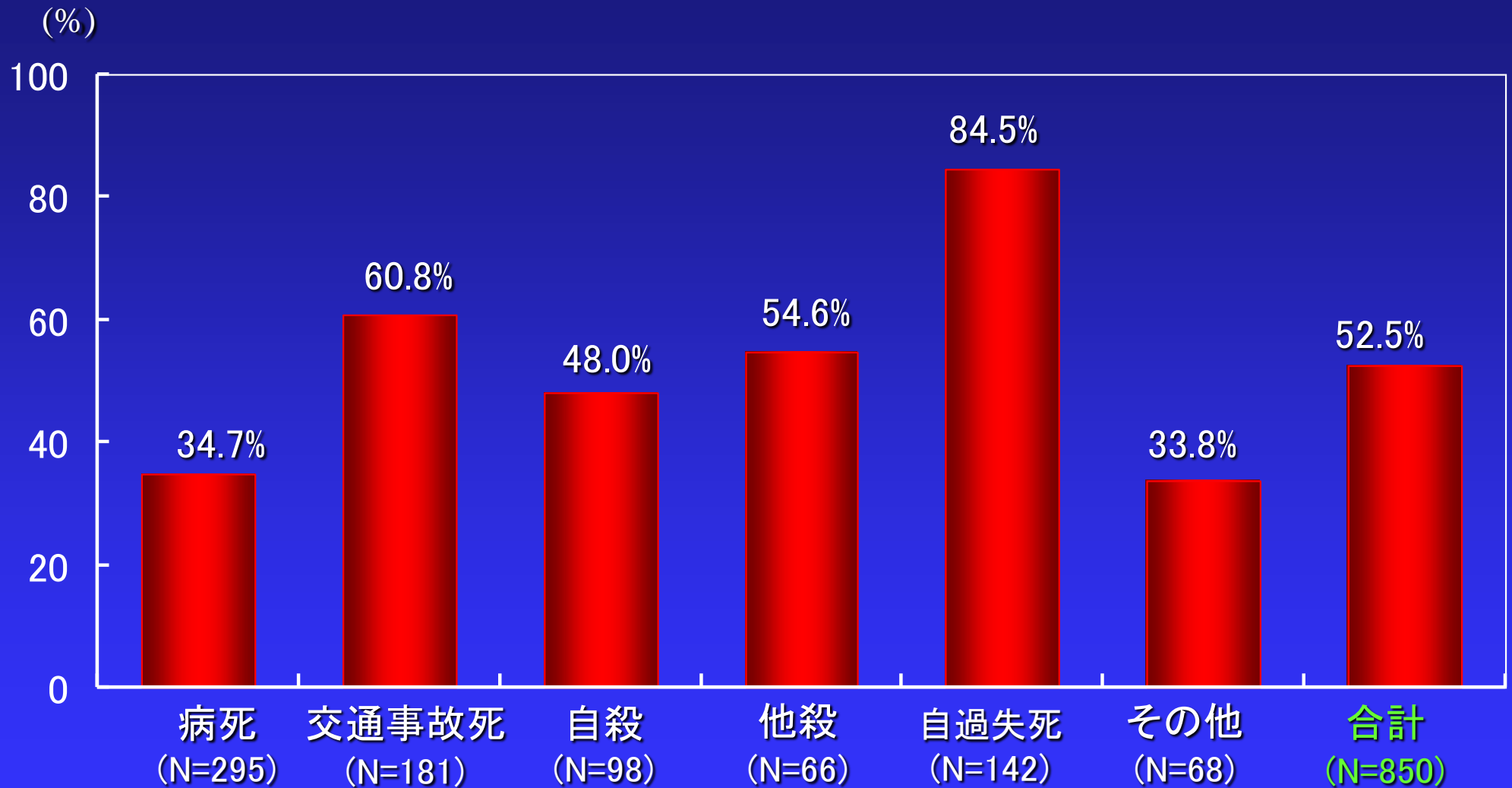
1. 大量飲酒と自殺率

既報の7編の論文のうち、5つの調査で大量飲酒は自殺リスクを高めるとの報告。日本の2つの調査もこれに含まれている。

2. 少量・中等量飲酒と自殺率

2調査でリスクが低くなる、4調査で無関係、1調査で飲酒量に比例してリスクが高くなると報告している。

東邦大学法医解剖例におけるアルコール検出率



飲酒と自殺の関係

自殺直前の飲酒

1. アルコールの効果は主に希死念慮の増強
2. 計画された自殺より計画性のない自殺企図と相関
3. 心理的要因
 - 1) 飲酒が絶望感、孤独感、憂うつ気分といった心理的苦痛を増強する
 - 2) 飲酒が自分に対する攻撃性を高める
 - 3) 飲酒は死にたい気持ちを行動に移すきっかけとなる
 - 4) 視野を狭めて自殺を予防するために有効な対処手段を講じられなくなる

飲酒と自殺の関係

アルコール依存症

1. アルコール依存症の自殺率は高い

2. 理由

1) 負のライフイベント

- a) 心理的剖検研究によると、うつ病の自殺者と比較してアルコール依存症の自殺者は離婚や別離といった対人関係のストレスが高いことが示されている
- b) 対人関係の問題は自殺の6週間以内に起こっている傾向がある
- c) 対人関係の問題がアルコール依存症において最も強く自殺や自殺企図と相関するとされている

2) 合併症

- a) 自殺したアルコール依存症者に関する調査によると89%に何らかの精神科合併症を認めている
- b) 既遂者で最も多い合併症は、気分障害、境界性人格障害である

3) 飲酒

- a) 直前に飲酒していることが多い

久里浜アルコール症センター退院患者の 死亡に関する研究

対象

年齢分布が同一の男女それぞれ291名のアルコール依存症患者である。

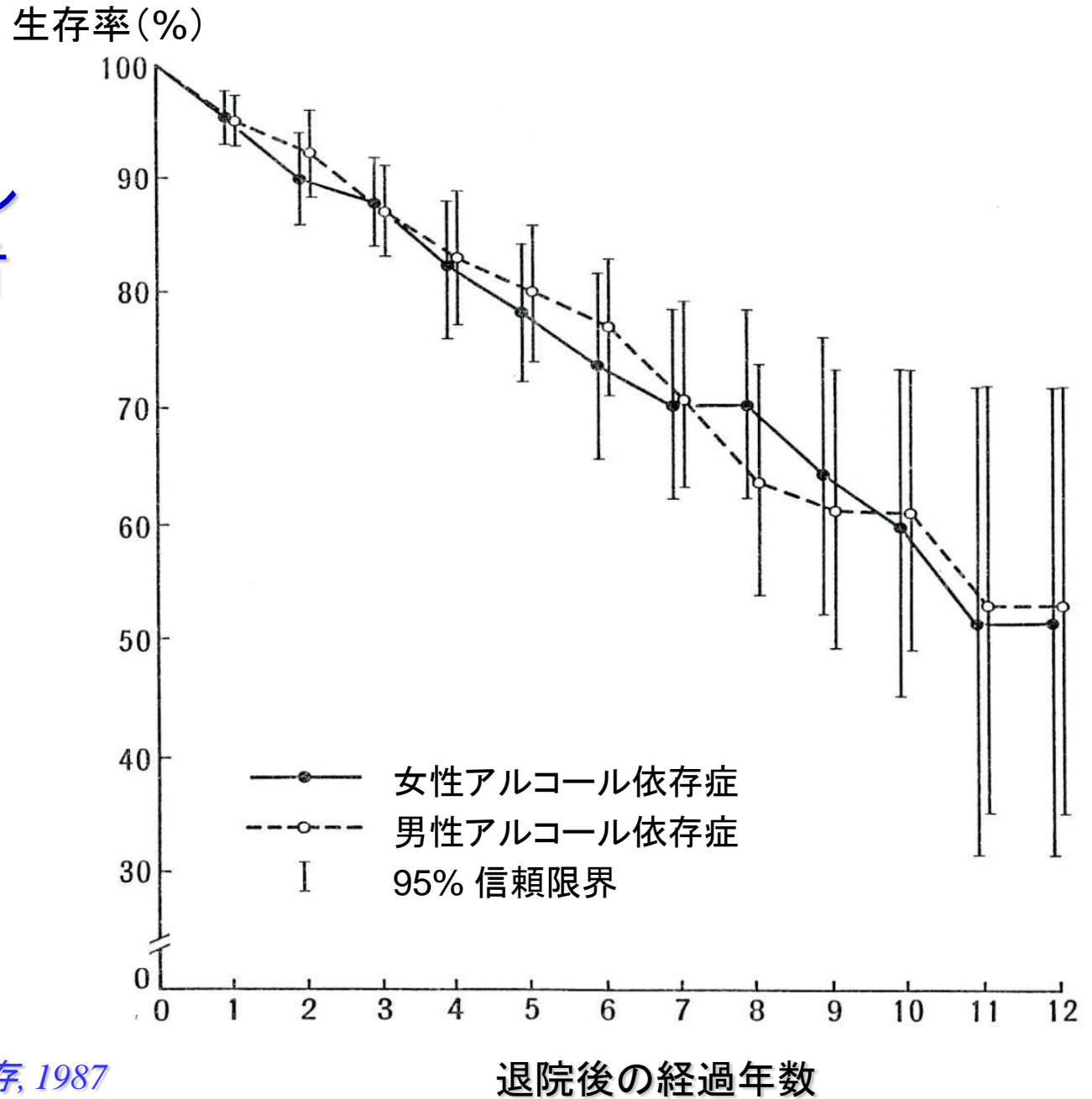
方法

- ・ 久里浜アルコール症センターで入院治療後1～12年後の生存・死亡、死亡している場合にはその原因を調べた。
- ・ 実際には法務局の許可を得て、対象者の死亡診断書を取り寄せて情報を得た。

追跡率

281名の男性(97%)、272名の女性(94%)の転帰が確認できた。

久里浜アルコール症センター退院者の生存曲線



退院アルコール依存症者の死因と標準化死亡比

	男性		女性	
	死亡数	死亡比	死亡数	死亡比
がん	5	2.1	3	2.1
心疾患	11	9.9	9	16.1
脳血管疾患	7	5.0	5	6.8
肝炎・肝硬変	16	32.7	18	180.0
事故	3	5.4	5	41.7
自殺	4	9.3	7	35.0
その他	10		5	
合計	56		52	

自殺企図または自殺したアルコール依存症者の特徴: その1

- 人口統計
男性
年齢が50歳以上
- 社会的要素
単身生活
非雇用
社会的サポートが乏しい
対人関係の喪失
- 自殺に関連した要素
自殺について語ること
自殺企図の既往
自殺の家族歴

自殺企図または自殺したアルコール依存症者の特徴: その2

- アルコール・薬物関連要素
飲酒を続けていること
大量飲酒
最近の連続飲酒
アルコール依存症治療の既往
アルコール依存症の家族歴
薬物の乱用歴
- 精神医学的または医学的要素
うつ病のエピソード
重篤な医学的疾患

自殺に到る 組み合わせ

リスクの高い人
+
負のライフイベント
+
絶望感
+
精神疾患
+
アルコール
+
衝動性

多量飲酒を減らすには

多量飲酒者を減らすには

集団として減らすには

→ アルコールの消費量を抑制する

平均飲酒量が下がれば、大量飲酒者数も減る

Lederman

個を対象にして減らすには

→ 介入、特に簡易介入が有効という